

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社屋建設プロジェクト	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	480 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2024年9月9日
敷地面積	3,981 m ²	作成者	西日本技術開発株式会社 一級建築士事務所 小副川 学
建築面積	1,104 m ²	確認日	2024年9月9日
延床面積	7,944 m ²	確認者	西日本技術開発株式会社 一級建築士事務所 小副川 学



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
太陽光発電等により省エネルギー化を実現し、木柱やCLT耐震壁を取り入れた木造オフィスビルである。	
Q1 室内環境 空調のゾーン別制御性について、ペリメータとインテリアで室外機を分け、ペリメータは冷暖同時系統としているためゾーン別に冷・暖の選択が可能な計画としている。	Q2 サービス性能 事務所空間は空間や荷重にゆとりがあり、将来の模様替えに対応した計画としている。 設備機器の更新ルートが確保された計画としている。
Q3 室外環境(敷地内) 建物の外観はまちなみや景観に配慮した色彩を採用し、外構の植栽により良好な景観を形成している。	
LR1 エネルギー 用途別エネルギー消費量を把握できる計画としている。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用、再生水利用、リサイクル材の採用を行っている。
LR3 敷地外環境 燃焼機器の使用しておらず、外部に対して大気汚染物質を発生しない計画としている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される